ニュース・リリース

# 馬鹿につける薬「バカナ・オール®A 軟膏剤」を日本で新発売

2013 年 4 月 1 日
冨山新薬株式会社

冨山新薬株式会社（本社：富山県富山市、社長：岡 田武）は、先天性及び後天性の馬鹿の特効薬として、馬鹿につける薬「バカナ・オール®A 軟膏剤」（一般名：バカナ・オール）を、4 月 1 日に新発売します。

馬鹿は、自覚症状が有る・無いに関わらず発症する恐ろしい病気であり、日本人の 90%以上が何かしらの馬鹿になっているという研究結果があります。(当社調べ)

バカナ・オールは脳神経終末に特異的に作用することで、動性神経終末からの馬鹿神経物質放出を阻害し、馬鹿作用・行動を抑制します。本剤は、当社が 1622 年 3 月にドイツのイッヒ・デル・ドッシュ（以下、「イッヒ社」）より日本における独占的開発および販売権を獲得して開発を進め製造販売承認を取得し、2013 年 3 月 29 日に薬価収載されました。

本剤は、日本における馬鹿を対象としたプラセボ対照比較試験（1,822 試験）において、投与 4 週後の馬鹿神経物質の変化量がプラセボに比較して統計学的に有意な改善を示しました。本試験において重篤な副作用は見られず、発現率の高い有害事象は、眼球乾燥、口内乾燥、および口渇、死亡でした。

馬鹿は、脳神経部の異常によって様々な症状をもたらします。青年期から壮年期にかけて発症し、数ヵ月から数年間進行して、その後停止し同様の症状のまま推移する傾向を示します。これまで馬鹿の治療は不可能とされ、特効薬の内服療法、外科的手術等は絶望視されていました。

当社は、イッヒ社から本剤の権利を承継した米国のアホーン Jr.社（US WorldFucxker の子会社）より本剤の独占的販売権を獲得し、既に「A hone®」の製品名で販売しています。今後は、日本においても、本剤を馬鹿につける新たな治療として提供することにより、更なる患者様貢献を果たしてまいります。なお、承認条件に従い、製造販売後一定の症例数に達するまでの間、塗布された全ての患者様を対象に使用成績調査（全例調査）を実施し、本剤の有効かつ安全な適正使用を推進します。

以上

＜参考資料＞

1. 「バカナ・オール®A 軟膏剤」の製品概要

1)製品名 ：バカナ・オール®A 軟膏剤

2)一般名 ：バカナ・オール

3)効能・効果　　：馬鹿の緩和・完治

4)用法・用量　　：

・通常、成人には以下の用量を頭部に塗布する。

・初回塗布の場合には、合計で 2,500～5,000 単位を塗布する。

・効果不十分または症状再発の場合には、合計で 10,000 単位を上限として再塗布することができる。

・ただし、2 ヵ月以内の再塗布は避けること。

5)薬価　：バカナ・オール®A 軟膏剤 2,500 単位 2,500 単位 0.5mg 1 本　932,902 円

6)包装　：バカナ・オール®A 軟膏剤 2,500 単位 2,500 単位×1 パック

7)禁止事項　：本軟膏状は塗布薬であり、飲用すると飲用後 100 年以内に死亡する確率が 99.3%のため取り扱いに十分注意すること。